

## 実践報告

## 市立札幌清田高等学校

### (1) 研究内容

研究課題：「性に関する学習の研究」

『性と生』をテーマとする授業から基本的人権・民主主義・社会参加を考える

- 公民科「倫理」で人間の尊厳と生命への畏敬についての思索を深めさせ、民主社会における人間の在り方や社会参加意識を高め、自発的な態度を涵養する。
- 国際理解教育を通して、人権に関する思考や態度を養うことを育成すべき資質とし、協働学習において互いの立場や意見を尊重し、幅広い視点で物事を考え、自分の言葉で表現する力を育成する。
- 性的少数者の現状を理解し、共生社会を築くことは他の人権問題にも関連する共通の社会的指針となることを認識し、人権に配慮し他者を尊重する態度を涵養することで共生社会の実現を目指す。

### (2) 実践内容

対象生徒：清田高校グローバルコース 1 年生・2 年生・3 年生 合計：117 名

パネリスト：弁護士・前札幌市長 上田文雄氏

市立札幌清田高校長 岡積義雄

授業者：清田高校地歴公民科教諭 長沼 斎



【導入】事例に関して各グループで意見交換する。

○ねらい

- ・ 私たちの中にあるジェンダー意識について確認する。

○学習内容

- ・ 事例「トランスジェンダーの男子から『スカートをはきたい』と相談されました。あなたはどのように答えますか。」に対して意見交換。
- ・ グローバルコースを学年縦割りにして、異学年で意見交換することで、他者の考えや在り方・生き方を尊重する態度を育成する。

【展開】2003 年「レインボーマーチさっぽろ」に全国で初めて地方公共団体の長として L G B T の集会に参加した上田札幌市長（当時）の動画を視聴する。

○ねらい

- ・ グローバルコースの目的は think globally , act locally であり、身近なところ

から行動し課題意識をもって地域の課題解決に取り組み、貢献していくことを通し、他者の立場や意見を尊重し自ら考え行動する態度を育成する。

#### ○学習内容

- 札幌市長として上田文雄さんが「レインボーマーチさっぽろ」に参加した理由を考え、同じ札幌市民の平等の権利を守ることは市長の役割として責任を感じていることが背景にあったことを上田文雄さんより語ってもらう。
- 第7回「レインボーマーチさっぽろ」での上田文雄札幌市長（当時）が行ったスピーチは人権の本質をついた素晴らしい内容であることを、当時の動画を全員で視聴し確認した。

#### 【上田文雄氏からの指摘】

- 弁護士として子どもの人権問題や少年非行事件に関わっていた時に、男子高校生の保護者から性同一障害によって自死も考えているとの相談を受けた。死にたいほどの苦痛を伴う実態を知り、日弁連でもLGBTの人権を保障する活動を行ってきた。
- 無知から知ることによって意識が変わり、意識が変わると行動することができる。社会を変えるには行政による制度が必要である。
- 2017年7月に札幌市が導入した「パートナーシップ宣誓制度」は全国6番目で、政令指定都市では初めての取り組みである。これまで「レインボーマーチさっぽろ」に参加するなど、市長として下地を作ってきた。
- この制度はパートナーとして宣誓したことを札幌市が認証するというシステムで、法的な効果はまだない。今後、この制度を発展させて、那覇市のように市営住宅への入居の条件等することも可能だが、まだ実現していない。



### (3) 研究のまとめ

#### ①成果

「LGBTの人権保障のためには、人権意識を高める市民の運動と行政による人権保障制度が必要であることを確認できた。」

#### 【生徒の意見・感想】

- 社会全体がカミングアウトしやすい雰囲気となり、過ごしやすい札幌市にしたい。
- 周囲の理解がまだ足りない。もっと広まるために、自分が広める人になりたい。
- 自分が知らないことがたくさんあった。自分がどう接すればよいかわかった。
- 札幌市の寛容な制度を伝えていきたい。
- 理解が広まり、イベントが多くなって、無知に気付く人が増えてほしい。
- 「レインボーマーチ」のような活動は札幌市が先陣を切って進めていきたい。

- 生活における性差が縮まっていければよいと思った。LGBTという語を使わない社会ができればよい。
- 特別な制度がなくてもよい社会にしたい。
- 他のマイノリティにも注目する視点が見られた。
- 「18歳選挙権」が行政に対して行動するきっかけになるのではないか。

## ②課題

- グローバルコースだけでなく、全校的な取組みにしたい。
- 今の制度に足りないことを考える必要がある。これが最終目標ではない。
- 社会全体としてまだ受け入れられていない。社会的弱者に対する方策が必要。

## ③提言「人権教育のすすめ」

上田文雄氏より

「子どもの権利を守り、個人を尊重し、憲法 13 条にある幸福を追求する権利を大切にしてほしいと思います。札幌市はLGBTの他にも、障がいのある子どもたちによる体育大会を『レインボーピック』と呼んでいます。様々な色をもつ虹（レインボー）に多様性を置き換えています。ここで学んだ生徒の皆さんは社会において多様な個性や文化に対しての開拓者になってほしいと思います。そして、今日、学んだことは生涯に渡って自分自身の財産を獲得する授業でしたし、また、自分の考え方を革新することで自己を解放する実践的な方法を学んだ授業だったと思います。」

